

## 寅さん歩 その23

### 東京の博物館めぐりー52

新宿区ー5



平野 武宏

コロナ禍での外出自粛や博物館の休館で、しばらくお休みしていた東京の博物館めぐりの再開です。今回は新宿区の博物館めぐりの続きで早稲田大学 早稲田キャンパスの博物館を訪問しました。写真右上は構内に立つ創設者 大隈重信像です。彫刻家 朝倉文夫の作と知りました。寅さん歩 東京の博物館めぐりは区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称)の中から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料はいずれも無料です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

#### [早稲田大学歴史館]

新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学早稲田キャンパス 1号館1階

寅次郎、大塚駅前から都電荒川線を利用して約25分で早稲田キャンパス正門に到着です。一般的な最寄駅は東京メトロ東西線 早稲田駅です。

新緑のまぶしい構内には長かったオンライン授業から対面授業を待ちかねていた学生たちの元気な姿であふれていました。正門を入り、すぐ右に早稲田大学歴史館があります。寅次郎、初めての訪問です。



キャンパスそのものをミュージアム化との目標に既存の二つのミュージアム（後述）に加えて2018年3月20日開館しています。1882年（明治15年）に東京専門学校として開学以来、刻んできた歴史が一堂に展示されています。館内は撮影禁止なので言葉で説明します。エントランスルームは「通史の概観と建学の理念」、常設展示1は「久遠の理想」エリア（創立の功労者たちの生涯と早稲田の原点）、常設展示2は「進取の精神」エリア（常に改革を続ける早稲田）、常設展示3「聳ゆる薨(そびゆるいらか)」エリア（校友やゆかりの著名人の紹介）、企画展示ルームは「ワセダの漫画家たち」（写真上右）2021年9月18日～2022年8月7日が開催され多くの漫画家が紹介されています。エリアの名は早稲田大学校歌の字句ですね。開館時間10時～17時（月曜～日曜）、休館日 水曜、祝日、夏季・冬季・春季休業期間の土曜・日曜、一斉休業期間ほかです。

## 〔早稲田大学 會津八一記念博物館〕

早稲田キャンパス2号館

正門を入り左手の2号館に會津八一記念博物館（写真下左）があります。



會津八一（1881～1956）は東洋美術史の研究者、歌人、書家として知られています。早稲田大学文学部英文科在学中は坪内逍遙のもと英文学を学び、卒業後は美術史学の研究を志し、1926年（大正15年）より東洋美術史の講義を始めた早稲田大学名誉教授です。美術史の研究と教育には作品と直に接することが不可欠と私財を投じ、作品を集め学生の教育・研究の資料にしました。記念博物館の建物は当初は図書館として建てられ1925年（大正14年）に完成した早稲田大学で2番目に古い建物で建築家 今井兼次のデビュー作です。

館内は撮影禁止なので言葉で紹介します。1階は「會津八一コレクション展示室」（會津八一の書画、書簡資料、東洋美術作品などの展示）、「近代美術展示室」（早稲田大学 大社淑子名誉教授と妹の玲子氏が蒐集してきた近現代美術のコレクション）、「富岡重憲コレクション展示室」（大田区山王で活動してきた富岡重憲のコレクションを展示）です。

2階は企画大展示室（グランドギャラリー）で「お殿様と狩野派」2022年4月4日～5月22日が開催されています。秋田藩第9代藩主佐竹義和の藩絵師に召し抱えられた狩野派の絵師 狩野秀水求信の絵画資料です。開館は10時～17時、休館日は4月中毎週水曜と29日、5月3日・4日・5日・11日です。

## 〔早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館〕

早稲田キャンパス5・6号館

大隈重信像手前を右に入ると早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館（通称 エンパク）（写真下右）があります。入口手前左に坪内逍遙先生像（写真下左）があります。

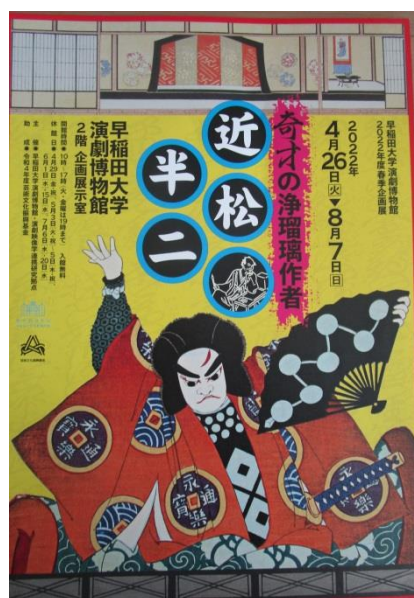


入口右の説明板には[1928年（昭和3年）10月に坪内逍遙の古希と「シェイクスピア全集」の完訳を祝って学界・演劇界の有志1500名余の協賛により建設された。建築の意匠は逍遙の発案によりイギリスのエリザベス朝（16世紀後半）の様式で、シェイクスピア時代の劇場フォンチューン座を模して設計されている。鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、建坪は約400平方メートル、内部は逍遙記念室を始め8つの展示室、図書閲覧室がある。また外部は実際にシェイクスピア劇が上演できるようになっており、館の正面は舞台、2階の廊下は上舞台、建物の両翼は栈敷、前庭は一般席となる。なお、正面舞台上に掲げであるラテン語は「全世界は劇場なり」という意味で、シェイクスピア時代の

劇場グローブ座に掲げてあった看板の句である]と記載（原文のまま）。坪内逍遙は明治から昭和にかけて小説家・評論家・翻訳家・劇作家として活躍、近代日本文学の成立や演劇改良運動に大きな影響を与えました。東京大学文学部卒業後、早稲田大学の前身である東京専門学校講師を経て早稲田大学の教授となります。

館内は撮影禁止ですので言葉で説明します。常設展は古代、中世、近代、現代、世界の演劇（ヨーロッパ・アメリカ・アジア）、日本の映画とテレビというテーマで、それぞれの時代や地域の演劇・映像文化史を紹介しています。

1階 六世中村歌右衛門記念特別展示室「2022年新収蔵品展」（写真下左）2022年3月24日～8月7日が開催。2階企画室 春季企画展は「近松半二 奇才の浄瑠璃作者」（写真下右）2022年4月26日～8月7日が開催。開館時間は10時～17時（火・金曜日は19時まで）、開催中の休館日は4月29日、5月3日～5日、6月1日・15日、7月6日・20日なのでお出かけの際はウェブで確認してください。



## [考古学・民族資料常設展示]

早稲田大学 大隈記念タワー（26号館）10階 125周年記念室

會津八一記念博物館で場所を知り、初めての訪問です。早稲田大学が所蔵する考古民族資料を一堂に公開する場所を大学本部にオープンしました。館内でフラッシュ無しの撮影は可でした。学内の施設拡充や校地の整備に伴い、1976年（昭和51年）の埼玉県・本庄を皮切りに所沢、東伏見など各校地に埋蔵文化財

調査室が開設され、各地のキャンパスに眠る様々な遺跡・遺構の様相が明らかになり展示してありました。写真下左は大隅タワー（26号館）、写真下右は10階125周年記念室入口です。



写真下左は展示室正面、写真下右は校地内遺跡のコーナーです。



東伏見キャンパスでは縄文時代の遺跡、旧石器時代資料が発掘。所沢キャンパスでは中世から近代にかけての遺跡を発見。本庄キャンパスでは中世の屋敷跡が検出・調査されました。早稲田キャンパスの旧安部球場跡地（現中央図書館）の発掘では旧石器時代から近代までの遺跡の存在が明らかになりました。なかでも弥生時代の集落は巨大な環濠を有する南関東屈指の規模だそうです。戸山キャンパスでは現学生会館の建設に伴う発掘調査で尾張徳川家下屋敷庭園の「龍門滝」跡や石組遺構などが発見されています。しっかりと保存され、管理されていることに感心しました。早稲田大学の原点・早稲田精神について多くを学び直せた慶応出身の寅次郎でした。

早稲田大学の学食は寅さん歩 193 東京の学食めぐりー2 をご覧ください。

## 【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎は「バーチャル 東北復興支援絆ウォーク」で福島県相馬市から青森県八戸市までの410kmに挑戦しました。2022年1月16日、福島県相馬市スポーツアリーナを出発、2022年4月25日、ゴールの青森県八戸JICに到着しました。歩いた日数は92日です。



写真左はHPから印刷したバーチャルコースシートです。シートは4枚あり、左は表紙と4枚目です。毎日の歩いた距離をシート上のマス(2km)を塗りつぶして進むバーチャルウォークはやりがいがありますよ。

「東北支援絆ウォーク」は東日本大震災10年を迎えるにあたり震災の記憶を風化させない、復興10年を期に東北の発展を支援するために日本ウォーキング協会などが主催団体となり、2021年3月から行われています。

寅次郎、藤沢から東京へ移住(2012年8月)して「寅さん歩」を書き始めて10年を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大防止の「まん延防止等重点措置」が2022年3月21日解除され、例会は4月から再開されました。毎日の運動不足対策や例会に出席できない場合にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝